

URAL 発電機脱着手順ヒント その1

燃料タンクを外してから発電機を取り出す方法が確実ですが
タンクを外さずらす方法でも発電機の取り外しは可能です。
(燃料漏出の心配がないので安全性は高いと思います)

下準備

- 0 1 ショート防止のためバッテリーのマイナスターミナルを外す。
- 0 2 オルタネータのホームポジション記憶のため発電機本体とクランクケースの
合わせ面にマジックなどでマークする。
- 0 3 発電機に接続されている配線を外す。(ソケット部、M6丸端子部)
- 0 4 発電機固定の左右ナットを外す。(M10XP1.00 SW17)



- 0 5 燃料タンク前方のタンク固定ネジ左右を外す。(M8Xp1.00)



- 0 6 燃料タンク固定後部ボルト左右を外す。(旧型のみ)
- 0 7 新型はボルト式から差し込みタイプに変更されたが
ハーネス、速度計ケーブルが干渉するのでタンクを持ち上げる際に
干渉しないよう注意する。

URAL 発電機脱着手順ヒント その2



- 0 8 エアクリーナーボックスに当たらないように回しながらスペースの作れる位置を探す。



- 0 9 エアクリーナーボックスの固定位置の関係で干渉する場合があります。そのときはクリーナーボックスのブラケットを緩めるなどして発電機を抜き取るスペースを確保します。
- 1 0 取付けの際はフランジガスケット部に液状ガスケットを塗布すればオイル漏れを防ぐことができます。
- 1 1 再取付けの際には発電機ギアの調整が必要です。マークした元の位置（ホームポジション）を基準にバックラッシュ音は最小でギアの唸り音がしない位置で固定します。